

政策	11 豊かな自然環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
施策が目指す姿	地域の貴重な財産である豊かな自然環境が次世代に引き継がれる。 地球環境にやさしい循環型社会の形成が図られる。 市民一人ひとりによる自発的な環境活動が展開される。						
成果指標	環境保全施策に対する市民満足度...5年間(H25～29)で65%へ増加(現状値60%) 環境保全に取り組んでいる市民の割合...5年間(H25～29)で100%達成						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定				65.00	/
		実績				56.90	
	成果指標2 [%]	予定				100.00	/
		実績				97.50	
	成果指標3 []	予定					/
		実績					
	成果指標4 []	予定					/
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,205,196	1,851,108	1,788,267	2,651,365	2,233,782	/
	実績	1,980,053	1,904,219	1,766,048	2,050,910	2,214,445	
内部評価	貢献度	豊かな自然環境の保全は市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成に大きく貢献すると考えられる。					
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。					
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。					
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。					
外部評価	達成率としては概ね良好であるが、環境の保全には市民の自発的行動が効果的であるため、特にこれからの栃木市を担う小学生のうちから環境に対する意識づけや施策を検討すべきである。 アンケートは18歳以上の方が対象となっているが、小さい頃からの動機付けにもなることから、小中高生の意見も聞いて施策に取入れてほしい。 また、外国人の方が増えているが、生活習慣の違いで環境衛生等の問題もあることから、外国人の方への意識付けを積極的に行ってほしい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1101	環境の保全				2,160,673	100
	1102	循環型社会の形成				10,988	100
	1103	新エネルギーの推進				42,784	100

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	11 豊かな自然環境の保全		
区分	妥当性	妥当	豊かな自然環境の保全に対する評価妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約等を実施することによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため妥当である。
	上位貢献度	有効	事業を適正に実施することにより施策への貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	環境保全の類似事業はない。
	成果向上の余地	有	事業を適正に実施することを推進することにより成果は向上する。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	豊かな自然環境の保全は市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成は大きく貢献すると考えられる。	
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。	
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。	
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	豊かな自然環境の保全は市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成は大きく貢献すると考えられる。	
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。	
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。	
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。	